

# CSVDLの利用方法について

Contrast Security Japan 合同会社

2021年6月

# 対応しているWindowsとバージョン

---

- Windows 10 64bit で動作確認済
- JRE 1.8.0\_202 は下記環境で動作 (Windows 10以外は未確認)
  - Windows 10 (8u51 and above)
  - Windows 8.x Desktop
  - Windows 7
  - Windows Vista SP2
  - Windows Server 2008 R2 SP1 (64-bit)
  - Windows Server 2012 and 2012 R2 (64-bit)



# CSVDLの起動

フォルダ内の CSVDLTool\_1.3.1.exe を実行

名前	更新日時	種類	サイズ
jre	2021/06/05 9:44	ファイル フォルダ	
CSVDLTool_1.3.1.exe	2021/06/04 18:08	アプリケーション	11,500 KB
CSVDLTool_v0131.pdf	2021/04/11 15:21	Adobe Acrobat Document	2,417 KB



# CSVDLの設定 (1/6)

アプリケーションの起動後、設定（初回起動時は「このボタンから基本設定を行ってください。」）を選択



# CSVDDLの設定 (2/6)

基本設定が表示されることを確認

CSVDDLTool設定

- 基本設定
- 接続設定
- CSV出力設定
  - 脆弱性の出力項目
  - ライブラリの出力項目
- CSVDDLToolについて

### 基本設定

Contrast URL :

Service Key :

Username :

#### 組織一覧

有効	組織名	組織ID	API Key	

追加  
削除

※ プロキシ経由など接続に関する設定が必要な場合は「接続設定」で事前に設定を済ませておいてください。

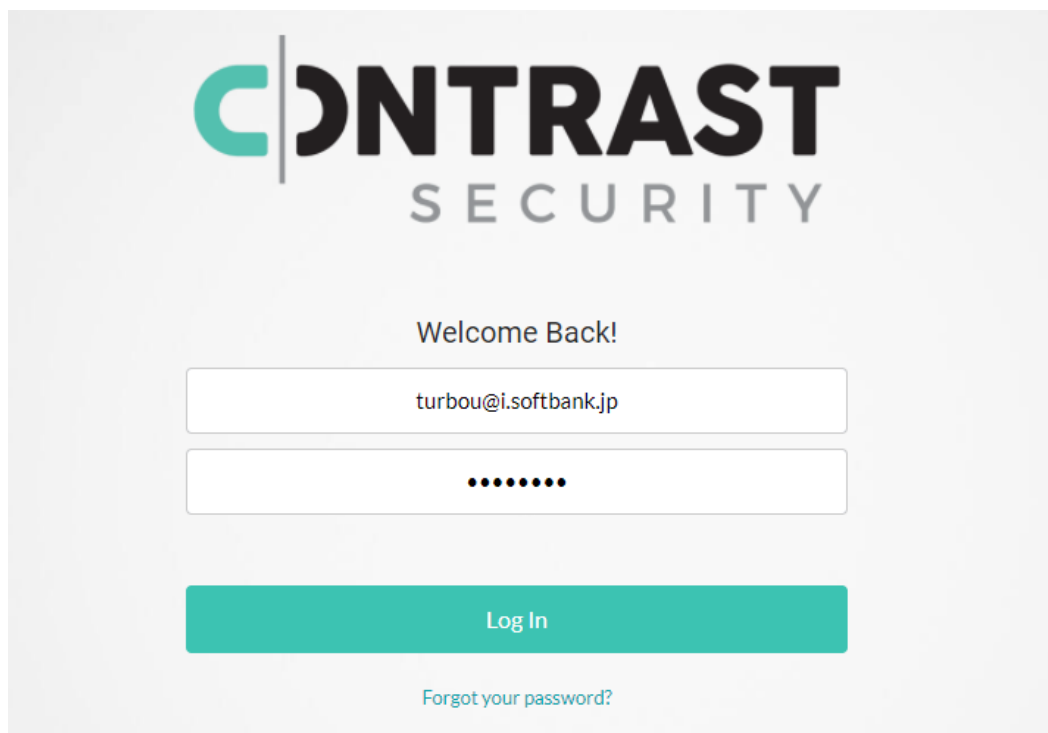
適用

OK Cancel



# CSVDLの設定 (3/6)

TeamServerへログインし、右上のメニューから ユーザの設定 を選択



# CSVDLの設定 (4/6)

ユーザ設定から CSVDL の 基本設定 へ、以下 3 つの情報をコピーします。



名前  
Takahiro

turbou@i.softbank.jp ③

日付形式  
yyyy/MM/dd

タイムゾーン  
(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

- ① Contrast URL
- ② サービスキー
- ③ ユーザ名

Contrast URL : http://13.113.20.198:8080/Contrast

Service Key : 7JFN9R4QNHT42B5C

Username : turbou@i.softbank.jp

あなたのキー

## 組織のキー

APIキー  
Glq7gWUjT14YghjTH5f4qRLdDDA3y3CD  
Contrast REST APIの使い方の詳細は、こちらのAPIドキュメントを参照下さい。

組織ID  
c2d85c52-b064-4a29-b856-16a1d655010c

Contrast URL  
http://13.113.20.198:8080/Contrast ①

## 個人のキー

サービスキー  
7JFN9R4QNHT42B5C ②  
認証情報を使ってサービスに

認証ヘッダー  
コピー

設定するユーザーについての要件は以下となります。

- 組織権限はView以上  
Admin権限のユーザーが設定されている場合  
アプリケーショングループの情報も取得できます。
  - アプリケーションアクセスグループもView権限以上
- ※ 上記の画面イメージについては本ドキュメント補足をご確認ください。



# CSVDLの設定 (5/6)

次に組織情報を追加します。複数の組織に属しているユーザーの場合、複数の組織を登録して、組織を切り替えて使用することができます。

組織一覧

有効	組織名	組織ID	API Key
<input checked="" type="checkbox"/>	Sample	2518436a-bfc1-4d91-83d0-c58128d7fb5a	Cdvv7kLsHW15yFy1HQ5BlqV1MCLDa267
<input type="checkbox"/>			

※ プロキシ経由など接続に関する設定が必要な場合は「接続設定」で事前に設定を済ませておいてください。

追加  
削除

※重要※  
接続の際にプロキシ経由やSSL証明書回避が必要な場合は次頁の接続設定を先に設定してください。

組織のキー

APIキー  
Glq7gWUjT14YghjTH5f4qRLdDDA3y3CD  
Contrast REST APIの使い方の詳細は、こちらのAPIドキュメントを参照下さい。

組織ID  
c2d85c52-b064-4a29-b856-16a1d655010c

組織の追加

組織ID : c2d85c52-b064-4a29-b856-16a1d655010c

API Key : Glq7gWUjT14YghjTH5f4qRLdDDA3y3CD

OK Cancel

組織一覧

有効	組織名	組織ID	API Key
<input checked="" type="checkbox"/>	Sample	2518436a-bfc1-4d91-83d0-c58128d7fb5a	Cdvv7kLsHW15yFy1HQ5BlqV1MCLDa267
<input type="checkbox"/>	Tabocom	c2d85c52-b064-4a29-b856-16a1d655010c	Glq7gWUjT14YghjTH5f4qRLdDDA3y3CD

※ プロキシ経由など接続に関する設定が必要な場合は「接続設定」で事前に設定を済ませておいてください。

追加  
削除

有効にできる組織は1つのみです。  
CSVを取得したい組織にチェックを入れてください。



# CSVDLの設定 (6/6)

接続設定では、接続制御に関する設定を行うことができます。ツールをお使いの状況に応じて事前に設定を行ってください。

CSVDLTool設定

基本設定  
接続設定  
CSV出力設定  
脆弱性の出力項目  
ライブラリの出力項目  
CSVDLToolについて

接続設定

プロキシ設定

プロキシ経由

ホスト:  ポート:

認証

認証なし  
 都度、認証情報を入力する (ツールを終了すると消えます)  
 認証情報を保存する (パスワードは暗号化されます)

ユーザー:   
パスワード:

SSL証明書検証

検証を無効にする

タイムアウト (ミリ秒)

ConnectionTimeout:   
SocketTimeout:

デフォルトに戻す 適用

OK Cancel

- **プロキシ設定**  
TeamServerへの接続がプロキシ経由の場合、プロキシ設定を行ってください。プロキシ認証については、認証なし、都度認証情報入力、認証情報保管の3種類があります。ご使用環境に合わせて選択してください。都度認証情報入力の場合、パスワードを間違えて設定してしまった場合などは一度、認証なしにして適用を行うか、ツールを再起動いただくことで再入力することが可能です。
- **SSL証明書検証**  
外部接続にSSL証明書が必要な場合、推奨としては、本ツールexeと同位置にありますjreフォルダに対して、keytoolを使った証明書の追加となりますが、この設定の「検証を無効にする」にチェックを入れることでSSL証明書検証をスキップさせることができます。
- **タイムアウト**  
ネットワークの状況に応じて、各タイムアウト値の設定が可能です。接続時にタイムアウトの例外が発生する場合は、デフォルトの3秒より大きな数値を設定してみてください。

# CSVDLの利用 (1/3)

アプリケーションの一覧を読み込みます。

**アプリケーション一覧の読み込み**を行うと対象の組織で管理されているアプリケーションの一覧が表示されます。

以下のアプリケーションは取得できません。

- ライセンスが付与されていない。
- ツールに設定されているユーザーに権限がない

現在有効な組織が表示されます。



# CSVDLの利用 (2/3)

取得対象のアプリケーションを指定して、脆弱性、ライブラリ情報を取得します。

対象のアプリケーションを選択し、矢印ボタンでボックス間を移動することができます。  
右側のボックスに入れたアプリケーションが情報の取得対象となります。(複数指定可能)  
矢印ボタンだけでなく、ダブルクリックによってもボックス間を移動可能です。



# CSVDLの利用 (3/3)

取得対象のアプリケーションを選択したら、脆弱性またはライブラリのタブを選択して、取得を実行するだけです。

PetClinic\_8081

脆弱性 ライブラリ

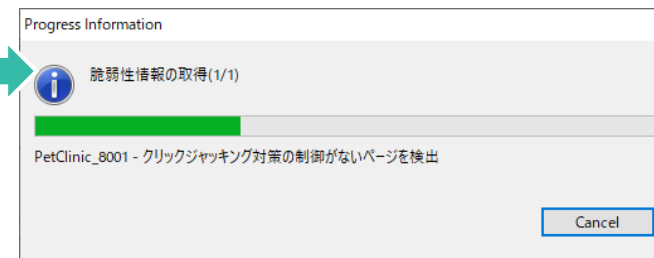
脆弱性情報を取得する場合

## 取得

- マージされたアプリの場合、親アプリの脆弱性だけを出力する。
- 改行を含む長文の項目（ルート、HTTP情報、修正方法、コメントなど）も添付ファイルで出力する。（フォルダ出力）
- 脆弱性の詳細（スタックトレース）も添付ファイルで出力する。（フォルダ出力）

必要に応じて、各チェックボックスをオンにして出力する内容を選択してください。

設定



取得が開始されると進捗状況を表示するダイアログが表示されます。  
※キャンセルで中止することも可能です。

ダイアログが消えたら、取得は完了です。

脆弱性 ライブラリ

ライブラリ情報を取得する場合

## 取得

- CVE（脆弱性）を含むライブラリのみ出力する。
- CVEの詳細情報も出力する。（フォルダ出力）

必要に応じて、各チェックボックスをオンにして出力する内容を選択してください。

設定



# CSVDLの出力結果

取得を実行するとダイアログが表示され、取得状況を確認することができます。

名前	更新日時	種類	サイズ
jre	2021/06/05 9:44	ファイルフォルダー	
lib_2021-06-05_111021	2021/06/05 11:10	ファイルフォルダー	
vul_2021-06-05_110550	2021/06/05 11:05	ファイルフォルダー	
csvdltool.log	2021/06/05 11:10	テキストドキュメント	1 KB
csvdltool.properties	2021/06/05 10:43	PROPERTIES ファイル	1 KB
CSVDLTool_1.3.1.exe	2021/06/04 18:08	アプリケーション	11,500 KB
CSVDLTool_v0131.pdf	2021/04/11 15:21	Adobe Acrobat Document	2,417 KB
lib_2021-06-05_110959.csv	2021/06/05 11:09	Microsoft Excel CSV ファ...	1 KB
lib_2021-06-05_111009.csv	2021/06/05 11:10	Microsoft Excel CSV ファ...	6 KB
vul_2021-06-05_110334.csv	2021/06/05 11:03	Microsoft Excel CSV ファ...	2 KB
vul_2021-06-05_110351.csv	2021/06/05 11:03	Microsoft Excel CSV ファ...	2 KB
vul_2021-06-05_110404.csv	2021/06/05 11:04	Microsoft Excel CSV ファ...	2 KB
vul_2021-06-05_110427.csv	2021/06/05 11:04	Microsoft Excel CSV ファ...	2 KB

名前	更新日時
8EK1-Q8FR-EZK3-23TY.txt	2021/06/05 11:05
A2WV-GEND-IG31-Z3PC.txt	2021/06/05 11:05
AITI-GKQW-6HYD-A5L6.txt	2021/06/05 11:05
GS59-S5QC-T66G-H9YN.txt	2021/06/05 11:05
H3EM-MD2S-VM7F-XCMS.txt	2021/06/05 11:05
vul_2021-06-05_110550.csv	2021/06/05 11:05
Y16Z-A06T-PQZZ-BGZU.txt	2021/06/05 11:05

- フォルダ出力となるオプションを選択している場合は上図の赤枠のようにフォルダで出力されます。フォルダ内にcsvと添付となるテキストファイルが出力されています。csvからハイパーリンクによってテキストファイルを開くことができます。
- ファイル名またはフォルダ名はツールの設定から変更することが可能です。

# 出力項目の設定について

ツールの設定でcsvに出力する項目のオンオフ、並び替えなどが可能です。

脆弱性の出力項目

CSV出力内容の設定

カラムヘッダ (項目名) を出力

出力	項目名	区切り文字	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	アプリケーション名		
<input checked="" type="checkbox"/>	マージしたときの各アプリ名称		
<input type="checkbox"/>	アプリケーションID		
<input checked="" type="checkbox"/>	アプリケーションタグ	,	
<input checked="" type="checkbox"/>	カテゴリ		
<input checked="" type="checkbox"/>	ルール		
<input checked="" type="checkbox"/>	深刻度		
<input checked="" type="checkbox"/>	CWE	,	
<input checked="" type="checkbox"/>	ステータス		
<input type="checkbox"/>	保留中ステータス		
<input checked="" type="checkbox"/>	言語		
<input checked="" type="checkbox"/>	アプリケーションのグループ	,	Admin権限のユーザーが設定されている場合、取得可能です。
<input checked="" type="checkbox"/>	脆弱性のタイトル		
<input checked="" type="checkbox"/>	最初の検出		
<input checked="" type="checkbox"/>	最後の検出		
<input checked="" type="checkbox"/>	ビルド番号	,	
<input checked="" type="checkbox"/>	次のサーバにより報告	,	
<input checked="" type="checkbox"/>	モジュール		
<input checked="" type="checkbox"/>	脆弱性タグ	,	

すべてオン  
すべてオフ

・ドラッグアンドドロップで項目の並び替えが可能です。  
・複数の値が出力される項目については、区切り文字の変更が可能です。改行させる場合は¥r¥nをご指定してください。

デフォルトに戻す 適用

OK Cancel

- 出力列のチェックボックスのオンオフで出力可否を設定できます。
- ドラッグアンドドロップで出力する項目の並びを変更できます。
- 複数の値が出力される項目については区切り文字を変更できます。デフォルトはカンマですが、¥r¥nを指定することで改行もできます。



# ユーザー権限の設定例について

本ツールに設定するユーザーの権限についてのサンプルイメージとなります。

CONTRAST アプリケーション サーバ ライブラリ 脆弱性 Contrastを検索 + エージェントを追加 2CHJBUA4JM

## 組織の設定

組織  
グループ  
ユーザー  
セキュリティ  
API  
インテグレーション  
サーバ  
アプリケーション  
通知  
レポートの設定  
スコアの設定

### ユーザを編集 - Takahiro Shiozaki

概要

名前: Takahiro

名字: Shiozaki

Email: turbou@i.softbank.jp

組織ロール: View

アプリケーションアクセスグループ: View

日付形式: yyyy/MM/dd 時刻形式: hh:mm a

タイムゾーン: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

APIのみ  UI利用  Protect

All (4) アプリケーションを検索...

アプリケーション	View	Edit	Rules Admin	Admin
BenchMark_taka1	●			
PetClinic_8001	●			

こちらもView権限以上が必要となります。

View権限以上が必須となります。  
※ Admin権限を持つユーザーの場合、アプリケーショングループの情報も取得できるようになります。

APIのみと限定しても大丈夫です。(任意)

ONにする必要があります。



Contrast Security Japan 合同会社